# 秋田県立大学木材高度加工研究所

# 公　開　講　演　会

日　時：平成22年10月29日（金）13:30～15:00
会　場：秋田県立大学木材高度加工研究所　研修室
参加費：無　料
主　催：秋田県立大学木材高度加工研究所
共　催：木質土木構造物研究会、(社)土木学会木材工学特別委員会
後　援：のしろ白神ネットワーク、(財)秋田県木材加工推進機構
　　(社)秋田県建築士会能代山本支部

## 講　演

## 「日本海中部地震の地盤被害と液状化対策への木材の活用」

早稲田大学理工学術院 社会環境工学科・教授
濱田　政則　氏

## 濱田政則氏　プロフィール

早稲田大学理工学術院 社会環境工学科・教授（工学博士）
神奈川県出身、早稲田大学理工学部土木工学科　卒業、東京大学大学院工学研究科修了
専門分野　　地震防災工学
大成建設株式会社などを経て、1994年より現職。内閣府中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」委員、国土交通省「建設技術研究開発助成制度評価委員会」委員長、（社）土木学会「巨大地震への対応委員会」委員長等多くの地震防災に関わる委員や、日本地震工学会会長、（社）土木学会会長を歴任。
日本海中部地震における能代市の地盤被害を詳細に調査し、流動化のメカニズムを解明するなど、液状化に関する研究の第一人者

## 会　場　案　内

## 土木分野における木材の利用拡大

1964年の新潟地震では、その当時普及し始めたコンクリート杭は損傷を受けて建物が傾斜したりしたが、従来の木杭基礎の建物は健全であった例が報告されている。木杭は50年以上の年月を経ても健全な場合が多く、時には100年近く経過したものもある。

近年の土木工事では木杭を含めて木材を主要部材にすることは皆無に近いが、土木分野においても温室効果ガス削減への取り組みが求められているいま、土木工事における木材の活用を推進して適切な木材の需給バランスを構築することは、わが国の森林の維持・再生を図る方策の一つとなるものと注目されている。

本講演会は、土木学会継続教育（CPD）プログラムの認定を受けています。単位数：1.5単位、認定番号：JSCE10-0539

# 送信先　FAX：0185-52-6924
# 秋田県立大学木材高度加工研究所　行き

秋田県立大学木材高度加工研究所
## 公開講座　参加申込書

| | | |
|---|---|---|
| 連絡先 | 住　所 | |
| | ＴＥＬ | |
| | ＦＡＸ | |

| 所　属 | 氏　名 | e-mail |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※ご参加される方のお名前等を記入し、FAXで送信してください

※会場準備の都合上、**10月20日（水）**までに申し込みをお願いいたします。

※ご記入いただいた情報等は、当日の受付業務のほか、公開講座や研究会行事の案内にのみ使用させていただきます。その他の目的では使用いたしません。

**お問い合わせ**

公立大学法人　秋田県立大学木材高度加工研究所
〒016-0876　能代市海詠坂11-1
TEL　0185-52-6900　FAX　0185-52-6924
E-mail: taka@iwt.akita-pu.ac.jp　（担当：佐々木）
URL　http://www.iwt.akita-pu.ac.jp/